



MANY
NO.436

令和2年5月28日(毎月第2・4週配信)MANY(Morality Active Network of Youth)

モラロジー青年活動ネットワーク メールマガジン

FROM 青年育成課

新型コロナウイルス感染拡大による全国的な緊急事態宣言は解除されましたが、まだ予断は許せません。

先日テレビで「海外からの不思議ーなぜ日本ではこのウイルスが広まらなかったのか？」という話題が取り上げられていました。

理由の一つが、日本人は他者を思いやる道德心が高いという評価で、自粛要請(お願い)だけでこの困難な状況を乗り越えつつあるということです。

しかし実際は、「感染が怖い」「周囲から非難・批判されたくない」「休業補償をもらいたい」など、道德心が高いとは言えない側面も見えてきます。

こんな時こそ自分にできることはないか、今はできなくても収束後にできることは何かなど、前向きに道德心を発揮してやっていきたいものです。(土谷和光)

園内のバラが綺麗に咲きました！

園内のいろんな場所で沢山の花々が咲いています。千葉県は5月25日に緊急事態宣言が解除され、仕事や学校が日常に戻る兆しが見えてきました。花たちもこの喜びに共鳴したように、綺麗に花を咲かせています。

麗澤幼稚園脇のバラ園では、たくさんの種類のバラが競うように咲き誇っていて、5月下旬から6月下旬にかけて見ごろを迎えます。東京ドーム10個分の敷地に約300種の樹木、1万5000本が所在する園内。麗澤幼稚園の前に広がるバラ園には、50品種340株のバラがいろとりどりの花を咲かせています。



バラの後ろで高さを出しているのは、ジキタリスという洋風ガーデンで人気の植物。長い花穂にびっしりと花をつける姿が魅力的です。和名はキツネノテブクロ(狐の手袋)、全草に毒性があり注意が必要ですが、ベル型の花がユニークでとても美しい花です。

「道経一体ビジネス支援」

「生涯学習センターオンライン」が開設！！

5月21日より協働企画「コロナ危機対応 道経一体ビジネス支援サイト」が開設しました。全国各地のモラロジアン企業、日本道経会会員企業の商品が専用サイトで購入できます。

サイトは個人維持員、企業団体維持員、道経会会員の皆様の応援用特設サイトです。維持員の方は維持員番号でログインをすることが可能です。

道 経 一 体 ビ ジ ネ ス 支 援



発行元は麗澤大学以外、誰かに依頼ありません。
私たちが「道経一体」の経営者であるから「道経一体」経営者として
認めますよ。経営者の責任を全うしていただきます。



また、《ネットで学ぼう、つながろう》をモットーに「生涯学習センターオンライン」を開設しました。野々村守春センターの挨拶とともに、久野副センター長のモラロジー概論「概論の学び方」の動画をアップしています。毎週金曜日に、『概論』第1～4章と、「心のカレンダー」をもとにしたお話を、生涯学習センターの講師陣が展開していきます。ぜひご視聴ください。

道経一体ビジネス支援 <http://www.dohkeibiz.jp>

モラロジーネット <http://www.moralogy.net>

ブロック青年育成担当・青年代表合同会議 オンラインで開催！！

令和2年5月16日(土)、ブロック青年育成担当・青年代表合同会議を26名でオンラインを活用して開催しました。出張所の視聴も含めると最大30名を超える大規模な会議となりました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、青年活動も従来の学習会、社会貢献活動が困難な現状ですが、今だからこそできることをと、毎年一堂に会して開催してきた恒例の合同会議をオンラインに切り替えて開催しました。



これまでと違った環境での開催でしたが、オンライン上でお互いの顔を見ての全体討議、グループに分かれての討議もスムーズにでき、約3時間充実した会議となりました。

会議では、オンライン学習会・会議を積極的に行いメンバーのつながりを広げ深めることなど、この状況下だからこそできることを確認しました。会議の様子は、青年の [Facebook](#) にて確認できます。また『所報』7月号に掲載されます。

<報告:青年育成課>

各地でオンライン会議・飲み会を開催！～青年は活動しています～



青年たちはオンラインを活用したつながりを広げています。パソコンがなくても、スマートフォン、タブレットがあれば簡単に交流できます。



各地で青年は会議や飲み会をして、直接会えない状況でも、オンラインを活用してつながり、その輪を広げていけるよう工夫をしています。

オンライン活動だけに限らず、皆様の様子をメルマガや、Facebookで紹介していきます。ぜひ、青年育成課までご連絡ください。

学生モラロジー研究会 オンライン会議で頑張っています！

関東学生モラロジー研究会は、8月を予定していた「全国学生モラロジー研究会」の開催を見合わせましたが、状況をみながら延期できないかを検討しています。そのため、学生研究会は、毎週のように議論を重ねてきました。学生たちも、この新型コロナウイルスの事態収束を願い、工夫しながらセミナーの開催をめざしています。



モラロジーを活用しよう

維持員であれば誰でも閲覧できる維持員専用ホームページ「モラロジーネット」があります。入り方は、<http://moralogy.net/> にアクセスし、維持員番号とパスワードを入力するだけです。

今回のコロナ危機に対応した「道経一体ビジネス支援サイト」や、ネットで学ぶ講座「生涯学習センターオンライン」が新たに設置されました。それ以外にもモラロジー教育活動がより活性化していけるような様々な資料、情報がここにはあります。



実発展には、学習資料があります。『ニューモラル』『れいろう』

6
心の生還学習誌
れいろう



親離れ子離れの準備をしよう!

須坂祥子
わが子の進路はどれが正解?
志賀内藤弘

読者の声
わが子の進路はどれが正解?
志賀内藤弘

廣池千九郎
Chikuro Hirakawa
Amanohashi Shimbun

廣池千九郎の
教える115選

の
方
人
間
学
子

法学博士として教育者、そして教育活動家
新たな倫理観を打ち立てた

の人間学)』そして経営者クラブなど、参考資料の紹介や話し合いのテーマなどがあり、学習会を主催する方にも役立つ情報が掲載されています。

例えば、『れいろう』6月号の学習資料をみると、「(本誌 p.12左から 8行目)親子の信頼関係を築くには、親が子供の話をよく聞いてその心を知り、子供が受け入れられる話し方をすることが大切だとお伝えしてきました。」と本文を紹介してから、「あなたは、人の心の思いを受け止めながら話が聞けていますか？ また、相手に受け入れられる話し方とはどのような話し方なのでしょうか？」と話し合いテーマを投げてかけています。また『格言』は『三方よしの人間学』を使用しており、青年の学習会には活用しやすいと思いますので、ぜひ参考にしてみてください。

個人の学びを支援する「全文検索サイト」

また全文検索サイトが便利です。『道徳科学の論文』『日記』『語録』の中からキーワードを入力すれば該当箇所が出てきます。あの言葉どこのページに載っていたかなと思った際にはすぐに検索ができ、非常に便利です。グループ学習のまとめや事前・事後学習に最適です。

それ以外にも、広報用、学習用の動画やラジオ音声もこちらで閲覧・視聴できますし、下段の「事務連絡一覧」には、各ブロック活動情報、書式関係もこちらにありますので、便利でためになるサイトです。

MANYメルマガも閲覧できます

当然ながら、このメールマガジン(PDF版)も「お役立ち一覧」から閲覧できます。青年大会からのバックナンバーもありますので、ぜひご覧ください。メールマガジン(HTML版)は、直接お届けしていますので、希望者は青年育成課までお知らせください。またお知り合いの青年にご紹介ください。

これからの「品性力」が試されていく

緊急事態宣言は全国すべての都道府県で解除となりました。青年の皆様はこの新型コロナ事態をどのように受けとめて、なにを大切にすべきかそれぞれが考えられたのではないのでしょうか。国家の課題として、今後も起こりうる想定外の事態に現行法では限界があり、国民の生命や安全、財産を守るためにも憲法改正を視野に入れることが明確になったと私は思っています。今回は、モラロジーを学ぶ青年として、身近な課題として、「品性力」に注目して考えていきたいと思えます。

はっきりと表れた品性のカタチ

品性は、「人間の知識や能力や行為を、善の発展、つまり幸福実現のために有効に活用していく精神的な力であり、人間の生きる力の核心をなしているもの」で、私たちの「よりよく生きる力」を発揮させる重要な力のもとになります。

そしてこの品性は3つの力(「つくる力」「つながる力」「もちこたえる力」となっており、表れます。まさに、コロナ禍においてはこの「品性力」が、私たちの日常で様々な形となって表れていたといえます。特に「もちこたえる力」は、困難や危機に対処する力であり、課題や危機にあっても、粘り強く対応することで、自身の持っている力を十分に発揮していく力です。つまり、この局面において、じっと踏みとどまり、物事の成就に向けて粘り強く努力してきた人は、品性の高い人と言えますから、今回はっきりと各自の品性の力が見えてしまったのではないのでしょうか。

いつでも「品性力」が発揮できる人に

私が『論語』の中で好きなものの一つに、「君子固より窮す。小人窮すれば斯に濫る」があります。孔子とその門人が楚の国に向かう途中、それを妬んだ陳、蔡の軍に囲まれ、孔子一行が身動きとれず、飲まず食わずの状況に陥ったときです。我慢しきれなくなった弟子が投げかけた問いに孔子が答えたのです。

危機に出会わない人はいないと思います。今回がまさに困難に、人間としてのあるべき姿を探求しつつ、常に自己の可能性を信じて、たゆみない努力を続けることができるかが、「品性力」の大切なポイントであると思



のが先程の言葉
人生で、困難や
でした。その時
性を信じて、たゆ
イントであると思

「モラロジーは、直接に幸福を実現しようとするのではなく、まず品性の向上に励むことによって、おのずから幸福な人生を歩むことができるという考え方」であって、この品性を涵養することが、幸福を実現していくためのもっとも確実な方法としています。いつでも「品性力」が発揮できるよう、日々よい心づかいと行いに努めていきましょう。

<青年育成課 森田智>

参考『改訂テキストモラロジー概論』



テキスト

モラロジー
概論

© 2020

【お知らせ】

次号は、令和2年6月11日です

基本的に毎月第2、4週配信！

活動情報、ご意見、ご感想など声をお聞かせください。

[MANY事務局へ](#)

[発行・編集]

公益財団法人モラロジー研究所 青年育成課

(<https://www.facebook.com/moralogy.many>)

住所:〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

[TEL:04-7173-3312](tel:04-7173-3312) FAX:04-7173-3259

※掲載記事の無断での転載、再配布はお断りいたします。事務局までご一報ください。